

四国医療工学専門学校

学校新聞5月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生コーナー	1
実習報告会	2
就職セミナー	2
スポーツレクリエーション	3
オープンキャンパス	3
春季学生献血	3



NICE

Pick UP!

頑張る学生をご紹介します！

門田 隆生さん

高知県立岡豊高等学校出身 出身



今回は、臨床工学学科2年生の門田隆生さんにインタビューしました。門田さんは、勉強とアルバイトを両立しながら、毎日、安芸市から通学しています。そんな頑張る門田さんに、いくつかの質問をしました！

Q & A



Q1 臨床工学技士を志したきっかけは？

もともと医療関係の仕事に就きたいと思っており、その中でも最先端の技術を用いた仕事をしてみたいと調べていたら臨床工学技士を見つけました。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

高知県で唯一の臨床工学技士養成校で、就職率も高いことに魅力を感じ、決めました。

Q3 今、どのようなことを学んでいますか？

勉強面では、1年生の時と比べて専門的な内容になっています。生活面でも挨拶など、社会に出て必要なことを学んでいます。

Q4 好きな授業は？

体外循環装置学は、仕事に就いた後の自分をイメージしやすく、医療の勉強をしているという感じがするので好きです。

Q5 趣味・特技は何ですか？

古着屋さんを巡って服を買うことです。学校終わりによく古着屋さんに行きます。古着屋さんに行くことで、色々な知識を得ることができます。

Q6 学校生活について

先生と学生が一体となって第2種ME技術実力検定や臨床工学技士国家試験に向けた勉強をされており、とても良い環境だと思います。友達もできて楽しく過ごしています。

Q7 当校の良いところは？

勉強面だけではなく、挨拶など基本的な事を一から学べることです。先生がとてもフレンドリーなのも良いところです。

Q8 アルバイトはしていますか？

飲食店とドラッグストアで働いています。時間をしっかり有効活用できています。色々な人と接することができるので将来に役立つのでは、と考えています。

Q9 今後の目標は？

2年生で、頑張って第2種ME技術実力検定に合格したいです。卒業してからは勉強や技術だけでなく、人柄も良い医療従事者になりたいです。

Q10 高校生に向けて一言

早いうちから、高校卒業後の進路を考えた方が良いと思います。

実習報告会を実施しました

4月11日、医療情報学科2年生による、実習報告会が実施されました。

2年生一人ひとりが前に出て、実習の内容、学内での学習との違い、実習で学んだことをどのように活かしていきたいか、などを発表し、参加した1年生も興味深く話を聞いていました。

実習で学んだ内容として、主に受付業務があげられました。「保険証と診察券を患者様に渡して、問診票を記入していただきます。今月初めて来院される患者様は保険証の確認をします。今月2回目以降の患者様は、そのまま受付します。問診票が返ってきたら内容をチェックして、受付票を診察する科へ持っていきます。」と受付全体の流れに沿って実習させていただいたようです。他にも『新規患者様の登録、入院病棟の巡回、入院事務、会計時のお金の確認、レセプト』について教えて頂いた学生もいました。

発表では、「学内学習では分からない、忙しさや責任の重さを実感しました。」という声も聞かれました。また、「患者様が受付に来られたら、「今日はどうなさいましたか?」と問いかけたり、分からないことがあれば説明をしたり、他にもたくさんの業務をしなければならない事を知りました。」と多くの発見があった様子でした。

最後には、「医療事務は直接、診療行為に関わるわけではありませんが、立派な医療従事者だと思います。今回の実習を活かし、医療従事者ということを心に留め、社会人になっても忘れずにいたいです。」と力強く話してくれました。

実習前とは明らかに違う、力強く自信を持った表情の2年生の姿が印象的でした。



スポーツレクリエーション

4月28日、高知県民体育館にて全校生徒が参加し、スポーツレクリエーションを行いました。男子はバスケットボールとバドミントン、女子はバレーボールとバドミントンを、学年を横断したチームを作り戦いました。

男子バスケットボールでは、「身体がなまっている!」「明日は筋肉痛や!」などと言いながら、スピード感溢れるプレーが連発していました。中には、「高校時代に部活でしていたので感覚が戻ってきました。」と経験が活かされた様子の学生もいました。

女子バレーボールでは、「はい!」「そっちいったよ!」「そーれ!」と大きな声を出しながらプレーしていたのが印象的でした。1年生も先輩に混ざって果敢にプレーしており同級生から「頑張れ!」「ファイト!」と熱い声援が飛んでいました。

バドミントンでは、男女別ダブルスで戦いました。準決勝決勝になるにつれて疲れも見えてきましたが、「もういっちょ!」「ここからや!」と自分たちを鼓舞しながら頑張っていました。時折プロ顔負けのプレーも飛び出し、「すごい!」「ナイスファイト!」などと声がかかっていました。

優勝・準優勝のチームとペアには、内田校長より賞状と副賞のQUOカードが贈られました。

最後には全員、爽やかな表情をしておりゴールデンウィーク前の楽しいひと時を過ごせたのではないのでしょうか。



5/9

医療情報学科

就職セミナーを開催しました

5月9日、株式会社ホリスティックの方を講師にお招きし医療情報学科2年生対象の就職セミナーを開催しました。

このセミナーは、就職した後、楽しく働いてもらいたい、後悔の無い職場選びをして欲しいとの思いから実施されたものです。

最初に、アイスブレイクとして『24時間以内にあったラッキーな出来事』を発表しました。『安い駐車場をみつけた。』『友達と映画を観に行った。』など様々な答えに、とても和やかな雰囲気になりました。

次に、就職活動におけるミスマッチ事例が紹介されました。例えば、『休みが取れない』などの事例がいくつか紹介されましたが、共通していることは、就職した後に予想外の働きにくさに陥った事でした。そして、そういったミスマッチを防ぐ為には、『掘り下げる』『体験する』『裏を取る』ことが大切という言葉が印象的でした。

続いて求人票の見方を、職員数や勤務時間など具体的に分かりやすく教えていただきました。また、医療業界の動向についてもお話がありました。今、医療業界は変化してきており、調剤事務は薬剤師のパートナーとなりチームの一員として業務に関わるようになってきているとのこと。事務職員にファンがつく、メインキャラクター・主役になりうるという話に、学生たちは真剣に耳を傾けていました。

学生からは、「今までの自分の考え方が変わった。」「変化に強くなれるよう勉強していきたい。」との声が聞かれました。



4/22.5/13

医療情報学科

臨床工学学科

オープンキャンパス開催

4月22日、今年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。医療情報学科では、病院の受付で働く『外来クラーク』のお仕事である受付業務などを紹介した後、実際に病院を訪問し、現場の様子を見学しました。

参加者からは、「現場を見学することによって、雰囲気や仕事風景が知れて良かったです。」「実際に働いている方に話を聞くことができて良い勉強になりました。」といった声が聞かれました。

臨床工学学科では、臨床工学技士が仕事で操作する医療機器を紹介しました。今回は『人工透析器』にスポットを当てて詳しく解説しました。

参加者からは、「臨床工学技士の仕事の一つである人工透析について知れて良かったです。」「オレンジジュースの色が変わったのが目に見えて分かり、良い体験ができました。」などの感想があがっていました。

5月13日、今年度第2回目となるオープンキャンパスを開催しました。医療情報学科では、医療事務の様々な仕事内容について紹介した後、調剤薬局に行って職場見学をしました。

参加者からは、「パンフレット等の資料だけでは分からない、調剤薬局の現場を見学できて良かったです。」「薬の種類など、覚えることが多くてビックリしました。」といった感想が聞かれました。

臨床工学学科では、臨床工学技士誕生の流れと仕事で操作する医療機器をいくつか紹介した後、肺の模型を作成して人の呼吸と人工呼吸の違いを体験しました。

参加者からは、「実際に人工呼吸器に触れることによって、肺がどのように動いているか分かりました。」「人の呼吸と人工呼吸の違いについて分かって良かったです。」などの声があがっていました。

5/10

医療情報学科

臨床工学学科

春季学生献血

5月10日、高知県赤十字血液センターと協力して春季学生献血を実施しました。

献血をした学生に話を聞いてみると、「私は将来医療従事者になるので、今できることは献血だと思い、参加しました。」「献血は短時間で誰かを救うことができるので、(献血を)したことがない方にも是非協力して欲しい。」と話してくれました。

医療従事者になるという意識が芽生えてきており、頼もしく感じました！

